

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	千葉県
取組市町村名 取組団体・企業名	千葉県
取組の名称	地産地消食育推進モデル事業「おいしさいっぱい！ちばの恵み体験ツアー」
実施時期	11月26日
取組内容	(1) 場所：銚子漁港、銚子ポートタワー、銚子市漁業協同組合 (2) 内容 これからの食育推進リーダーとなる大学生等を対象に、農林漁業体験や地域との交流を通して、千葉県の豊かな「食」と「農」を身近に体験してもらうツアーです。今回は、漁港の見学や魚食普及に向けた調理実習のほか、漁協女性部等と「千葉のさかな」の魅力や消費拡大について意見交換を行いました。 (3) 結果 ①参加者：20名 ②銚子漁港・卸売市場見学 漁協担当者の説明を受けながら「高度衛生管理型施設」である第一卸売市場や製氷工場、入札の様子などを見学しました。 ③銚子ポートタワー見学 展望室で、銚子市水産課から漁港の整備等を説明しました。 ④調理実習 漁協女性部の指導のもと、銚子つりきんめの煮つけ、アジのさんが焼き、アジのつみれ汁を調理しました。「魚のさばき方をプロの方から教わることで、有意義だった。自宅でも実践したい」などの感想がありました。 ⑤意見交換会（ワークショップ） グループごとにテーマを設定し、学生・漁協女性部・漁業士で意見交換を行ったのち、発表しました。「千葉ブランドのつりきんめの認知度をアップさせたい。若い世代にはインスタやSNS、高齢者には紙媒体で情報発信してはどうか。」「魚の食べ方として、すぐに食べられる工夫を考えていくことが必要ではないか。」などの意見がありました。



②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	千葉県
取組市町村名 取組団体・企業名	香取市
取組の名称	食育授業及び地産地消献立の提供
実施時期	食育授業（11月28日）、地産地消献立の提供（11月中）
取組内容	（1）食育授業（香取市立栗源小学校） 小学校5年生を対象に、『千葉県を知ろう』と題し、栄養教諭による食育授業を実施しました。千葉県は、農産物が育ちやすく、都市部への輸送がしやすいことなどから農業産出額では全国第4位であり、食材別でみると、ねぎ、ほうれん草、なし、大根、にんじんなどが全国1位です。そのことを伝えると児童からは、「千葉ってすごいね!」「なんだか誇らしい」との声があがりました。また、地域の農産物生産者の苦労や喜びを伝えたことで、より農産物を身近に感じられる機会となりました。 （2）地産地消献立の提供（香取市内小・中学校） 香取市学校給食センターでは、『千葉県を味わおう献立』として、香取市特産の米（コシヒカリ）、さつまいも、にんじん、ごぼう、マッシュルーム、鶏肉、しょうゆ、千葉県特産の豚肉、ねぎ、大根、ほうれん草、牛乳を使用した、地産地消献立を実施しました。特に、さつまいもの天ぷらは、児童生徒に大人気でした。シンプルな料理ですが、地元のおいしいさつまいもだからこそ、児童生徒の味覚を刺激してくれたのだと思います。 また、たくさんの香取市産野菜と水郷鶏の入った、具沢山汁も毎回人気があります。 『ちばの恵みでまんてん笑顔』になれるよう、これからも地域の食材を生かした献立を提供したいと思います。

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	千葉県
取組市町村名 取組団体・企業名	神崎町立米沢小学校
取組の名称	大平台フェスティバル
実施時期	11月29日
取組内容	(1) 内容 地域のボランティアや社会福祉協議会の協力で開催される伝統行事として、今年で 29 回目を迎えます。 児童が地元の農家から指導を受け、栽培から収穫までを行った校産校消の食材を、自ら豚汁やおにぎりに調理し、地域の方々と共に食し、世代間の交流を醸成します。 (2) 結果 学級園で作る野菜は、豚汁にするために必要なものを児童会が栽培計画を立てて各学年に依頼しました。各学年に依頼した野菜は、1 年生、2 年生、5 年生はサツマイモ、3 年生は大豆、4 年生はニンジン、6 年生は大根です。このうち 3 年生が作った大豆は、神崎自然塾の方に指導していただき、次の時に使う味噌にします。今回は、2 年前に作った味噌を使って作りました。 また、5 年生は、食育と社会科の学習を兼ねて稲作を行い、できたお米で、おにぎりを作りました。お米は、農家の方に指導していただき、無農薬で作りました。 今年は、台風と大雨のため野菜が上手に育たず、一部いただいたものを使用しましたが、社会福祉協議会の方に協力してもらいながら、豚汁とおにぎりを作りました。そして、豚汁とおにぎりは、地域のお年寄りの方を招待し、みんなでおいしくいただきました。
	 

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	千葉県
取組市町村名 取組団体・企業名	白井市
取組の名称	防災訓練での食育啓発事業～いざという時役立つ非常食！～
実施時期	11月4日
取組内容	<白井市主催の防災イベント「防災くんれん」の参加者を対象とした食育啓発> (1) 内容 ・災害時の備蓄～食事編～（備蓄用食料の定期的な入れ替えや活用法の説明） ・「食改おすすめ！サバイバル献立」の紹介（3日分の備蓄活用献立の紹介） ・カセットコンロレシピの実演 （実演レシピ…ポリ袋でつくる「ご飯」「ポトフ」） ・備蓄状況の聞き取り、啓発物配布（備蓄チェックリスト、ポリ袋レシピ等配布） (2) 結果 ・参加者169人 ・備蓄に適した食品やローリングストック法について、実際の食品も展示して説明したため、参加者は購入の際の具体的なイメージができたようでした。 ・発災後の食事について、多くの備蓄が必要であること、停電した場合「まずは冷蔵庫の中から。次に備蓄を。」というポイントを理解してもらえました。 ・ポリ袋クックは作り方を熱心に質問する参加者が多く、約8割が自分でも平常時に作りたいと話していました。 ・参加者の79.8%が何らかの食料品を備蓄していました。

